

釧根まちくらしネットが総会

勉強会など事業計画決定 架け橋みちの会を後方支援



「はなから先、根室までの延伸については釧根架け橋みちの会にバトンタッチして、われわれは後方から支えて

【釧路発】釧路根室圏まちくらしネットワークフォーラム（宮田昌利座長）は14日、釧路センチュリーキャッスルホテルで2025年度総会を開催した。総会には会員ら20人が参加し、24年度事業・決算報告を行ったほか、勉強会や地域フォーラムの開催などを盛り込んだ25年度事業計画を承認。宮田座長は、道東道の根室延伸に向けた

いきないうと強調。同フォーラムは「地域について考えるものにシフトする」とし、会員らに協力を呼びかけた。議事では、24年度事業・決算報告のほか、25年度事業計画・予算を全会一致で承認。事業計画には勉強会や地域フォーラム、釧路・根室・中標津のまちくらし3極会議の開催のほか、全道まちネットの会との連携事業として釧根架け橋みちの会の完全バックアップなどを盛り込んだ。総会の中で、釧根架け橋みちの会の前原会長が同会の設立趣旨などを説明。「高規格道路は物流の効率化や産業振興、住民の安全・安心を確保するため必要不可欠な社会基盤であり、地域を未来につなぐための大切な架け橋」と話した上で「今

後、地域や関係機関と連携しながら、地域活性化に貢献できるよう尽力していく」と決意を新たにしていた。

講演会 開催も

総会後、講演会を実施。

宮田座長が「北海道の未来を支える高速ネットワークの役割」と題し、同会のこれまでの活動を振り返ったほか、管内インフラ整備のセグ改善等について、他地域におけるインフラ活用事例などを紹介した上で「釧

根管内には様々な可能性がある。管内のインフラを使っていることはまだまだある」と強調し、官民一体となった地域振興に向けて協力を求めた。

サンエス企業グループ代表 宮田昌利が座長を務める「釧路根室圏まちくらしネットワークフォーラム」の関係記事です